

注)本活動計画は総会にて承認されたものですが、新型コロナウイルス禍により中止・延期などの変更のやむなきに至っている部分があります。

「[新型コロナウイルス禍におけるシニア会運営に関する会長所信](#)」のページをご参照下さい。

関西支部シニア会第15期（2020年度）活動計画

1. 運営基本方針（シニア会活動の理念）

- (1) 会員相互の親睦と情報交流を促進する。
 - (2) シニアの経験・技術・知恵を活用し、教育機関、学生、企業、技術者を支援する。
 - (3) 関西支部の活動に協力し、その発展に寄与する。
- これらの活動を通じて、会員のシニアライフの充実と社会への貢献を目指す。

2. 2020年度運営方針

- (1) シニアによる社会貢献の一環として、小中学生・ジュニア会友向けの理科工作教室の開催、学生との交流、大学・高専への講師の紹介、企業に対する技術・経営支援を実施し、シニアの技術・知見の伝承を図る。
- (2) シニアの相互交流と社会見聞を深めるため、情報交流サロン、特徴ある技術を有する企業見学、機械・産業遺産ツアー、研修キャラバンを開催する。
- (3) シニア会を永続・発展させるために、諸活動の意義を各方面に広く理解いただくことを通じて、諸行事への参加を促し、引き続き次代を担う会員の増強を図るとともに、活動内容と運営委員会の在り方についての議論を深め、見直していく。

3. 2020年度活動計画

3.1 シニア会総会・運営委員会

- ①シニア会総会；年度の活動結果ならびに次年度の計画について報告し決定する。
付帯行事として講演会、懇親会を開催する。
 - ・2021年3月に第15期総会を開催する。
 - ・第14期総会の決定に基づき、第15期の活動を開始する。
- ②運営委員会；
 - ・2ヶ月に1回を目途に運営委員会を開催する。必要があれば臨時運営委員会を開催する。

3.2 社会貢献活動

①理科工作教室の実施

理科やものづくりに興味を持つ小中学生、機械学会ジュニア会友を支援し、理科好き児童の育成に貢献するため、親子の理科工作教室と特定の学校を対象とした理科特別授業を継続実施する。

- ・2020年度の特別事案として、8月7日に本部主催の「機械の日」記念イベントが大阪市中央公会堂で開催されるが、4教室のジュニア体験教室を本部と合同企画することで協力する。
なお、この企画に要する費用は全て本部の所轄となる。
- ・記念イベントの実行委員会は4月に予定されているが、それまでに原案を作成する。
- ・親子の理科工作教室としては、機械の日記念イベントを含めて24会場48教室程度を計画する。内容は、学校のカリキュラムを補い、児童の理科への興味を維持・強化できる内容とする。
- ・大阪市理科特別授業としては、最大7校・14クラス程度を計画する。内容は理科の単元に合わせたものとする。
- ・実施メンバーに関しては、新メンバーが加わるも、高齢化が進む上に教室数が増えるため、高齢者への負担を軽減する分担を検討する。
- ・メンバーの充足・増員を図るため、シニア会員の参画を募る。

②関西支部、学生会に対する支援

- ・関西学生会卒研発表講演会のコメンテータの派遣に努める。
- ・学生会との交流を兼ね、シニアによる講演や学生とのフリートーキングなどを内容とする「シニア会と学生会との交流会」（第15回）を10月下旬頃に開催する。
- ・支部の要請に応じて講習会や講演会への講師の派遣に努める。

③大学・高専への非常勤講師の紹介

引き続き、大学・高専からの非常勤講師の推薦依頼に対応する。

- ・大学・高専へは次年度の非常勤講師の推薦要請を出していただくように8月末頃には案内し、早目に活動を開始する。
- ・非常勤講師依頼が来れば、シニア会の当該年齢の全員、および該当者がいない場合はその後運営委員会へ案内を出し、広く応募者を募る。
- ・非常勤講師の該当年齢は契約時点で68歳以下の年齢制限がつくことが多いが、年齢制限を外して推薦依頼されるケースもある。案内する際に、年齢制限を外していただければより広い範囲から適合者を推薦できる旨の説明を加える。
- ・一方で、非常勤講師推薦の実績を関西支部会員へ積極的にPRするなどにより、該当年齢者層の会員増強を検討する。

④企業に対する技術・経営支援

個別企業からの要請に基づく技術者紹介、社内教育の実施などを通じて、シニアの知見・経験を活かして企業を支援する活動を継続する。

本部主催の「人材育成・活躍支援委員会」に参加し、活動の在り方についての参考とする。

(個別企業からの支援要請への対応)

- ・個別の企業からの技術者紹介などの要請に関しては、その都度、会員から応募者を募る。

(企業内技術者教育の実施)

- ・材力・強度分野および振動・音響分野については、シニア会側の対応能力を勘案しながら、教育を引き続き実施する。
- ・熱・流体、トライボロジー、機械加工などの分野については、如何に進めるかについて議論する体制を構築する。
- ・運営委員および会員に特定企業の技術系幹部を紹介してもらい、ニーズを探索する。

(「基礎講座講習会(仮題)」の準備)

- ・企業の設計・製造部門の技術者を対象として、材力、強度、振動、騒音、熱・流体、潤滑、機械加工などの基礎を学び直す契機とするための講習会を、関西支部とともに実施するための体制と内容につき引き続き検討する。

⑤技術伝承

- ・上記支援活動は技術伝承の一環であると考えるが、加えて、シニア会諸行事の講演資料などを精査・選択し、Webの閲覧資料を蓄積する。

3.3 会員交流活動

①情報交流サロン

- ・年3回程度(5月,8月,12月)開催し、シニア会員の有する技術を提供し相互の懇親を深める。
- ・会員から順次話題提供をお願いする。

②特徴ある技術を有する企業見学会

- ・年1~3回開催し、シニア会員との交流、懇親を深める。

③機械・産業遺産ツアー

- ・近畿の機械や産業遺産を対象に、年1~2回程度開催する。
- ・シニア会に相応しい見学先を選ぶため近畿産業考古学会とも連携する。

④研修キャラバン

- ・会員相互の親睦と企業見学など社会見聞を深めるため、年1回開催する。

3.4 シニア会活動の活性化

- ・関西支部の中でのシニア会活動の理解を深めるための情報提供の在り方の検討、シニアに限らず関西支部員にとっても魅力的な企画の立案・実行、次代を担う会員の増強、運営委員会の在り方の検討などを通じて活動の活性化を図る。
- ・運営委員、シニア会員の人的ネットワークなどを通じて、引き続き会員の増強に努める。

4. 予算概要

第15期の予算は、**¥1,728,000** とする。

3月の定時総会、4月の商議員会審議を経て決定される。

関西支部シニア会第15期（2020年度）予算案 （2020年3/1～2021年2/28）

単位：円

	科 目	2020年度 予算	2019年度	
			予算	決算
収 入	支部交付金	1,200,000	1,200,000	893,841
	機械工学振興事業資金助成 （理科工作教室）	40,000	55,000	55,000
	機械工学振興事業資金寄付金 （理科工作教室）	140,000	140,000	140,000
	理科工作教室参加料など	248,000	265,000	292,200
	諸行事参加料	100,000	100,000	130,000
	合 計	1,728,000	1,760,000	1,511,041
支 出	総会関連費用	230,000	250,000	207,808
	支援活動	1,022,000	1,040,000	953,825
	・企業支援活動	(40,000)	(20,000)	(29,780)
	・学生会との交流	(40,000)	(40,000)	(25,103)
	・理科工作教室	(932,000)	(970,000)	(898,942)
	・その他	(10,000)	(10,000)	(0)
	交流会 （企業見学会、情報交流サロン、 研修キャラバン、 機械・産業遺産ツアー）	136,000	200,000	95,908
	運営委員会、事務局経費等	340,000	270,000	253,500
合 計	1,728,000	1,760,000	1,511,041	